

共同募金配分金を活用した

校区社会福祉協議会が実施する事業の イチオシ事業一覧

(令和4年度事業：中央区版)

この資料は、令和3年度にお寄せいただいた共同募金の配分金を活用して、福岡市内の校区社会福祉協議会が令和4年度に実施した事業で、イチオシ事業をまとめたものです。



福岡県共同募金福岡市支会

この資料は、

- (1) 共同募金の配分金を活用して実施された事業を紹介しています。
- (2) 福岡市中央区内で校区社会福祉協議会が設立されている校区を掲載しています。

校 区	イチオシ事業名称	頁
春 吉	ふれあい会食会(高齢者会食会)	1
大 名	ふれあいネットワーク研修会	2
赤 坂	サロン赤坂	3
舞 鶴	ふれあい配食会	4
箕 子	認知症にやさしいまちづくり講座	5
当 仁	1000通の手紙(敬老祝品配布)	6
福 浜	高齢者配食事業	7
南 当 仁	家庭用品配布事業	8
高 宮	あかりでエールを！	9
平 尾	ふれあいネットワーク研修会	10
草 ケ 江	高齢者配食	11
小 笹	敬老のお祝い事業	12
笹 丘	高齢者配食	13



令和4年度 イチオシ事業 【中央区春吉校区社会福祉協議会】

共同募金助成事業

ふれあい会食会(高齢者会食会)

どげんかせないかん

昔ながらの人情味ある住民のつながりが残る地域ですが、徐々に顔を合わせる機会が減っており、なにか楽しみになるお出かけの行事が必要だと感じていました。またコロナ禍で、皆が集まる機会が少なくなっています。



こげんことしたよ

校区を2つの地域に分け、高齢者会食会を実施しました。新型コロナウイルスの影響で、3年ぶりの開催となりました。校区団体の協力による美味しく栄養満点の食事と、校区内にある病院による講話・レクリエーションの提供で楽しいひと時を過ごしました。

- 開催日：令和5年3月6日(月)・3月7日(火)
- 参加人数：43名・50名(各日) ●開催場所：春吉公民館



どげん やった？ 休止中は感染対策グッズを配付する等、つながりを絶たない努力を続けてきました。参加者より開催を待ちわびていた声が多く聞かれました。今後も感染対策を講じながら、実施していきます。 <80代 男性>





共同募金助成事業

ふれあいネットワーク研修会

どげんかせないかん

大名地区は福岡市最大の都市部「天神」を含む地区。転出入も多く、つながりが希薄になってきました。そのため平常時や有事の際の見守り体制について校区全体での話し合いや情報共有を定期的には行えていませんでした。民生委員の交代もあり、新任者と町内会長の顔合わせの場も必要でした。

こげんことしたよ

町内会長、民生委員、退任民生委員等の見守りボランティアの顔合わせを行いました。

町内会別に見守りマップ（気になる見守り対象者を地図上にマークしたもの）を作成し、意見交換を行いました。

- 開催日：令和5年3月19日（日）
- 参加人数：21名 ●開催場所：大名公民館



どげんやった？ 「見守りボランティア間で情報交換ができてよかった」「見守りの担い手が少ない現状がある」等の感想がありました。今後も見守りボランティアを増やすことを目標に年一回の開催を目指します。

<60代 女性>





共同募金助成事業

サロン赤坂

- 開催日：第1・3月曜日
- 参加人数：20名
- 開催場所：赤坂公民館



どげんかせないかん

多くの人が集まりやすい場所に、一人暮らしの高齢者の方が交流できる場がほしいとの声があがりました。



こげんことしたよ

脳トレやストレッチなどの毎回のルーティーンに加え、季節ごとの楽しい企画、元気に過ごせる学びの会など、充実した内容で実施をしています。

どげん
やった？

参加者の方、ボランティアの方みんなで楽しく過ごすことができる居場所になりました。

(サロンボランティア)





共同募金助成事業

ふれあい配食会

どげんかせないかん

H27以前は公民館での開催、H27以降は小学校のランチルームを借り、高齢者と子ども達の交流の場として「ふれあい会食会」を実施していました。コロナ禍により直接の交流が難しくなったこと、小学校の児童数の増加により同会場での開催が難しくなり、一時開催を見合わせていました。

こげんことしたよ

「コロナ禍でもつながろう」を目標に「ふれあい配食会」として新たにスタートしました。

小学校の芝生広場を借り、小学4年生の俳句を展示しました。ボランティアからの「お元気でしたか？」の声掛けや、発想力豊かな子ども達の俳句に、参加者の笑顔も弾けました。

- 開催日：令和4年10月28日（金）
- 参加人数：150名 ●開催場所：舞鶴小 芝生広場



どげん
やった？

参加者からのお礼の手紙が小学校に届くなど、直接の交流は難しくても、間接的な交流は今も続いています。
<70代男性>





令和4年度 イチオシ事業 【中央区箕子社会福祉協議会】

共同募金助成事業

認知症にやさしいまちづくり講座



どげんかせないかん

大濠公園の北部に位置し、マンションの建設が進む都市部です。かつては漁業が盛んであったことから移住者も多く、現在では交通アクセスの良さから転入者も増えています。若年層の転入も増えている一方で、単身高齢者世帯・夫婦のみ高齢者世帯が増えている地区です。



こげんことしたよ

「認知症になっても長く暮らし続けられるやさしいまち箕子」をテーマに講座を開催。箕子地区の福祉事業所ライフケア大手門より認知症の正しい理解を深める講話や、「認知症の方が身近にいたらどんなことができるか？」をグループワーク形式で考えました。

●開催日：令和5年3月9日（木）

●参加人数：24名

●開催場所：箕子公民館 講堂



どげん
やった？

「情報共有の機会を増やして、箕子全体で見守りをしていきたい」等の意見が寄せられました。

認知症に限らず、長く住み続けられる街づくりを目指し、引き続き講座を開催していきます。

<70代 女性>





令和4年度 イチオシ事業 【中央区当仁校区社会福祉協議会】

共同募金助成事業

1000通の手紙（敬老祝品配布）



どげんかせないかん

以前は敬老祝賀会を開催していましたが、参加したくてもできない人がいました。そこで、お祝いの気持ちが伝わるものと、誰にでも使ってもらえる品物を考えました。

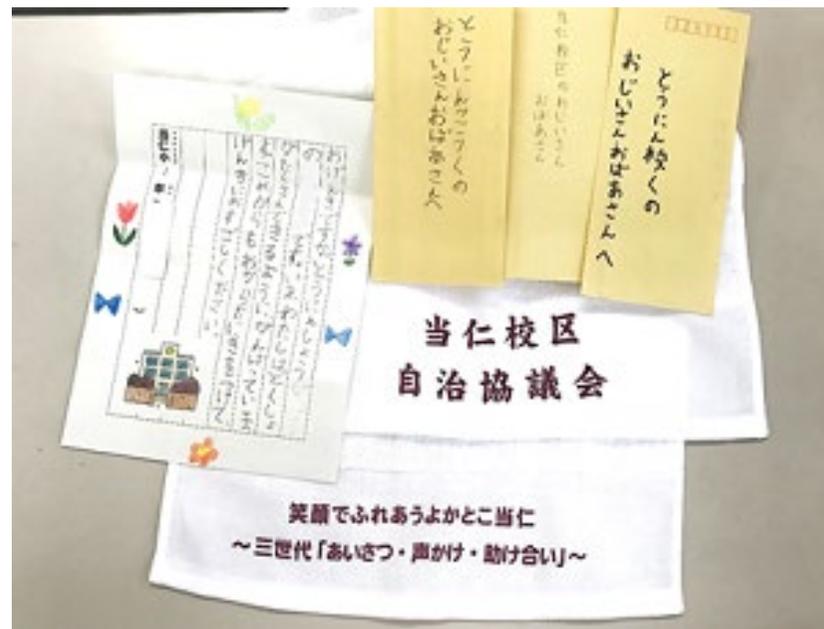


こげんことしたよ

校区にお住いの75歳以上の希望者（約1000人）に、小学生のお祝いの手紙とお祝いの品を町内会長の協力のもとお届けしています。お礼のお手紙も寄せられ、心温まる交流になっています。

●開催日：令和4年9月

●参加人数：997名（配布対象者数）



どげん やった？

コロナ禍で配食会等、様々な活動が中止になる中でも、変わらず活動を続けることができました。これからもつながりを絶やさないよう、活動を続けていきます。〈70代男性〉





共同募金助成事業

高齢者配食事業



どげんかせないかん

市営・県営住宅などの集合住宅が大半を占めている校区で、高齢化率は区内で最高（40%超）です。単身、高齢夫婦のみの世帯も増え、住民同士の支え合いが不可欠になっています。



こげんことしたよ

校区内の高齢者に、お弁当を配布しています。校区の様々な団体やボランティアの方が弁当作りに参加し、各町内会ですべてのお宅に配達します。顔が見える関係づくりにも一役買っています。

- 開催日：令和4年11月27日（日）
- 配食数：704食



どげん
やった？

毎年、感謝の言葉がたくさん寄せられています。お宅まで届けることで、高齢者の方と町内の方が話すきっかけにもなっています。（校区社協役員）





共同募金助成事業

家庭用品配布事業

 **どげんかせないかん**

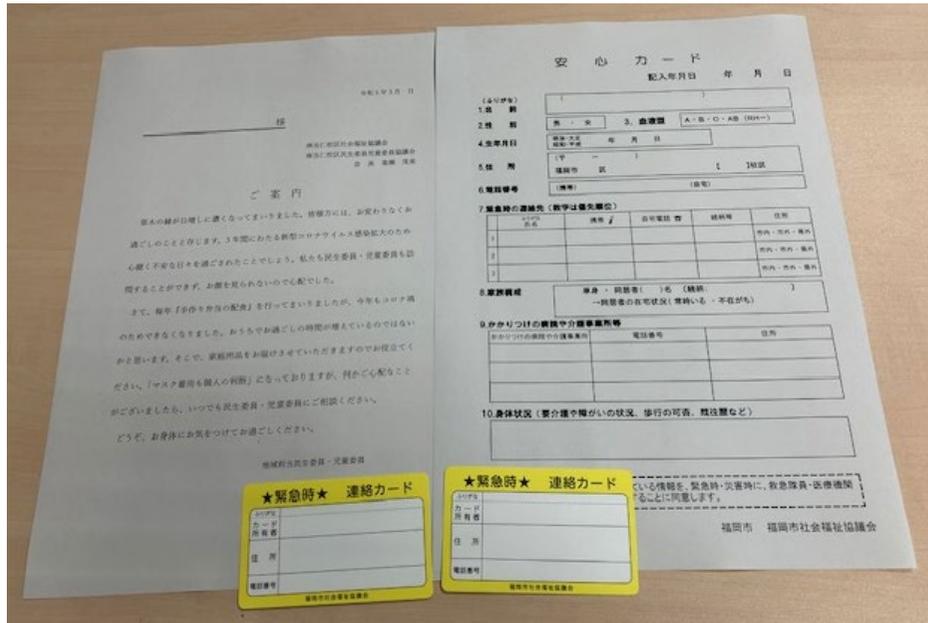
例年、校区内にお住まいの高齢者の方にお弁当を配食し、見守りや交流の場とする配食事業を行っていましたが、しかし、コロナ禍であったため、配食はしばらく控えていました。



 **こげんことしたよ**

コロナ禍であってもつながりを途絶えさせないため、家庭用品の配付と緊急時連絡カードの周知を行いました。

- 開催日：令和5年3月
- 参加人数：約2300名



どげん やった？ 久しぶりにお会いできる方もおり、会話をするきっかけになりました。今後も交流やつながりを大切にしていきます。
(校区社協役員)





共同募金助成事業

あかりでエールを！



どげんかせないかん

コロナ禍が長く続き、寂しい思いをしている地域住民に、心安らぐ時間を過ごしてもらいたい、医療従事者の方々に感謝の気持ちを表したいと考えました。



こげんことしたよ

校区社協運営委員、自治協運営委員、民生委員、ボランティアが力を合わせて灯ろうイベントを開催しました。地域の方により楽しんでいただくため、バイオリニストをお呼びしてミニコンサートも行いました。

- 開催日：令和4年10月28日（金）、29日（土）
- 参加人数：100名
- 開催場所：一本木公園・宇賀神社



どげん
やった？

灯ろうのほのかなあかりで、
ゆっくりとした時間を過ごして
いただきました。

（校区社協運営委員）





共同募金助成事業

ふれあいネットワーク研修会



どげんかせないかん

平尾校区は警固断層に近く、地震被害が心配される地域の1つです。そのため平時から見守りの体制づくりを行う必要を感じていました。



こげんことしたよ

市民局の講話、区社協の見守りマップ作成の説明を受けて、要支援者と支援者の関係性を視覚化するマップの作成と、支援者間での意見交換を行いました。

●開催日：令和5年2月18日（土）

●参加人数：60名

●（開催場所：平尾公民館）



どげん
やった？

防災はみんなに共通のテーマであり、活発な意見交換ができました。今後も個々への支援について地域で対応できることを模索していきます。（校区社協役員）





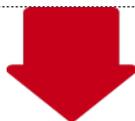
共同募金助成事業

高齢者配食



どげんかせないかん

地域に住む高齢の方に喜んでもらえて、町内会長さん・民生委員さんの顔つなぎの機会となるような活動を行いたいと考えました。



こげんことしたよ

コロナ禍のため、業者に依頼したお弁当を、高齢者のお宅を一軒一軒訪ねています。多くの方が毎年心待ちにされ、元気なお顔を見せてくださいます。

- 開催日：令和4年11月12日（土）
- 配食数：567食



どげん
やった？

心づくしのお弁当はとてもおいしく、普段から声かけしてもらい、感謝しています。

（80代女性）





共同募金助成事業

敬老のお祝い事業



どげんかせないかん

中央区の南側に位置する住宅地の多い校区で、新しいマンションも増えてきています。それに加えて高齢者も増加している中、地域でのつながりが希薄化する可能性を心配していました。



こげんことしたよ

校区内の80歳以上の方の誕生日に、障がいサービス事業所がデザインした手ぬぐいを敬老のお祝いとして配付しています。校区社協設立当初から敬老お祝いに取りんでおり、社協のメイン活動となっています。

●開催日：通年（対象者の誕生日にあわせて）

●参加人数：約700名



どげん
やった？

手ぬぐいの配付に合わせて定期的な見守りにつながっており、普段接することが少ない方ともお話しできるきっかけになっています。（校区社協役員）





共同募金助成事業

高齢者配食



どげんかせないかん

一人暮らしや夫婦世帯の高齢者の方で、公民館まで来ることができない方への見守り活動を行いたいと考えていました。



こげんことしたよ

町内会長さんと民生委員さんで、高齢者の方の家を訪問し、お弁当を配布しました。普段の生活状況等を知ることができ、災害時の安否確認に活かされることを再確認しました。

● 開催日：令和4年11月13日（日）

● 配食数：74食



どげん
やった？

日ごろから顔を合わせておくことが、もしもの時に役立つということを学ぶ良い機会となりました。
(校区社協役員)

